

エネルギー安全保障問題を巡る 日米韓の現状と課題

本講演では、アメリカ(パシフィック・フォーラムCSIS), 日本(日本エネルギー経済研究所), 韓国(ソウル大学)のエネルギー安全保障問題に詳しい専門家を迎え、エネルギー安全保障問題について各国の視点から討論します。講演の後半には質疑応答を設け、日米韓三方向からエネルギー安全保障について考察していきます。皆様、奮ってご参加ください！(詳細裏面)

日時: 平成27年7月8日(水) 14:35-16:05

会場: 広島大学 総合科学部 K棟 110講義室

言語: 英語 **日英同時通訳有**

対象: 広島大学学生・教職員

※ 7月3日(金)までに、
件名に「広島大学平和講演会申込み」
本文に「所属学部等」「氏名」「学籍番号」
を記載のうえ、メールにて以下アドレス宛
お申込みください。

講義単位やゼミ単位など団体での参加も歓迎！

その場合は、代表者と人数をお知らせください。



主催 広島大学 教育・国際室

お申込み、問合せ先 広島大学 教育・国際室国際交流グループ

TEL: 082-424-6045

E-mail: kokusai-group@office.hiroshima-u.ac.jp

【プログラム概要】

エネルギーの80%以上を海外に依存する日本にとって、安定供給の確保(エネルギー安全保障)は、日本の重要な外交政策課題です。これまで資源が乏しいと考えられてきた日本ですが、昨今では高い技術による海洋資源開発への期待と共に、世界第6位といわれる広い領海・排他的経済水域に注目が集まっています。一方でこうした資源開発は、新たな資源を求める各国との獲得競争の可能性も秘めています。本講演では、アメリカ、日本、韓国のエネルギー安全保障問題に詳しい専門家を迎え、エネルギー安全保障問題について各国の視点から討論します。講演の後半には質疑応答を設け、米日韓三方向からエネルギー安全保障について考察していきます。

パシフィック・フォーラムCSIS (★)

ワシントンDCにある戦略国際問題研究所(CSIS)の独立したアジア太平洋部門としてハワイ・ホノルルに拠点を置くシンクタンク。1975年の設立以来、産官学のリーダーたちと対話や分析を通じて政治、安全保障、経済、ビジネス、海洋政策などの課題に取り組む。環太平洋地域の研究機関との協力を通じてアジアの視点も取り込みながら、研究成果や提言をオピニオン・リーダー、政府関係者、市民へと広く発信している。

講師



モデレーター



【講師紹介】

ジェイン・ナカノ:(左)

米国戦略国際問題研究所(CSIS) エネルギー・国家安全保障部 主任研究員

伊藤 庄一:(中)

日本エネルギー経済研究所・戦略研究ユニット・国際情勢分析第2グループグループマネージャー, 研究主幹

アン・セイヒョン博士:(右)

ソウル大学国際関係学教授

【モデレーター紹介】

ブラッド・グロッサーマン:

パシフィック・フォーラムCSIS エグゼクティブ・ディレクター